

家庭学習の手引き（1・2年生用）

このてびきは、1・2年生のみなさんが家や学園でどんな学習をすればよいかをまとめたものです。

1・2年生の学習の時間のめやすは、およそ20～40分です。

はじめる前に

家の人、学園の先生とどんな学習をするのか、ないようをかくにんしましょう。

はじめましょう

- 音読をしましょう。
 - 教科書や図書の本などを声に出して読みます。
 - 文をおぼえるくらい、音読をします。
- ひらがな・カタカナ・かん字のれんしゅうをしましょう。
 - 先生のお手本や教科書などを見て、書きじゅんに気をつけて書きます。
 - かん字は、読みがなやおくりがなまでていねいに書きます。
- 日記を書きましょう。
 - 1日のできごとで、心にのこっていることを、じゅんじょよく書きます。
 - てん（、）丸（。）かぎ「」やならったかん字を使います。
 - 書き終わったら1回読んで、まちがいがいないか、たしかめます。
- プリントの学しゅうをしましょう。
 - 先生からわたされたプリントをやります。
 - プリントがないときは、きょう学しゅうしたもんだいや、にがてなもんだいにちょうせんします。
- 1～4まで早くおわったら、自分で考えて学しゅうをしましょう。
 - テストがかえされたら、まちがったところをもう一どといてみる。
 - きょう、学校で学しゅうしたことのおさらいをする。
 - すすんでどく書をする。

おわったら

- いえの人・学園の先生に、学習したものをみせて、サインをもらいましょう。
- あしたの時間わりをたしかめて、しゅくだい、教科書、ノート、したじき、ふでばこをランドセルに入れましょう。
- ふでばこに、えんぴつ（5本）、赤えんぴつ、青えんぴつ、けしゴム、じょうぎがはいっているか、たしかめましょう。えんぴつは、けずっておきましょう。
- たいいくふく、ハンカチ、ちり紙、ぼうし、ネームなどひつようなものをじゅんびしましょう。

家庭学習の手引き（3・4年生用）

めあて

- ☆ 毎日つづけて学習しましょう。（40分～60分）【^{けいぞく}継続は力なり】
- ☆ 文字をていねいにかきましょう。

【家庭学習を始める前に】

- 学習に集中するために、テレビやゲームのスイッチを消しましょう。
- 机の上を整理しましょう。
- 部屋や机の上が暗いときは、^あ明かりをつけましょう。

【家庭学習の進め方】

- 読み・書き・計算を中心に、毎日続けましょう。

◆ 音読をしましょう！

- 国語の教科書で学習しているところなどを声に出して読みましょう。
 - ・ はっきりと ・ ゆっくりと
 - ・ 正しく ・ 感じをこめながら
- 文をおぼえるくらい読みましょう。
- だれかに聞いてもらいましょう。（音読カードにサインをもらいましょう。）
- 音読カードに反省を記入しましょう。

読み

◆ 漢字の練習をしましょう！

- 今、国語の時間にならっている漢字を書きましょう。
 - ・ 漢字ドリルを見て、書き順を確かめながら
 - ・ 「とめ」、「はね」、「はらい」に気をつけて
 - ・ 読み仮名や送り仮名も
 - ・ ていねいに、正しく、きれいに

書き

◆ 計算練習をしましょう！

- 計算ドリルの問題をノートに書いて練習しましょう。
 - ・ 時間をはかってやってみましょう。
 - ・ すんだら答えあわせをして、ていせいをしましょう。
 - ・ 筆算はかならずじょうぎで線を引き、くいをそろえて書きましょう。

計算

◆ 日記を書きましょう！

- その日にあった出来事などで、いちばん心にのこったことを一つ選んで書きましょう。
 - ・ ならった漢字をつかって
 - ・ ていねいな文字で
- 曜日ごとのだいいがい
月（友だちのこと） 火（学校生活）
水（ニュース） 木（読書感想文）
金・土（日）（自由なだいいがい）

※ テストが返されたら、自分がまちがえたところをかならずていせいしましょう。

※ 宿題プリントがあったときは、それを中心にしましょう。

※ 進んで読書しましょう。

- ・ 自分の読書目標冊数にむかって、^{としよしつ}図書室や家、学園にある本を読みましょう。

【家庭学習が終わったら】

- 学習した内容や時間をたしかめてから、家の人や学園の先生にサインをしてもらいましょう。
- あすの時間割をたしかめて、じゅんぴをしっかりとしましょう。
（教科書、ノート、宿題、筆箱、体育服、提出物、ハンカチ、ちり紙、帽子、給食着など）
- 筆箱には、とがった鉛筆（5本）、赤鉛筆、青鉛筆、消しゴム、定規などが入っているかたしかめましょう。

家庭学習の手引き（５・６年生用）

めあて

- ☆ 毎日つづけて学習しましょう。（６０～９０分）【^{けいぞく}継続は力なり】
- ☆ 文字をていねいにかきましょう。



【家庭学習を始める前に】

- ☐ テレビやゲームなどのスイッチを消す。（集中して取り組むことが大切です。）
- ☐ 机の上を整理して、学習用具をそろえる。（教科書・ノート・筆箱・下敷きなど）
- ☐ 明かりをつけてよい姿勢で学習に取り組む。（姿勢がよいと集中力が上がります。）

【家庭学習の進め方】

- 音読、漢字学習、日記、宅習（算数・社会・理科）、読書（１０分以上）

◆ 音読をしましょう！

音読

- 国語の教科書で学習しているところなどを、声に出して読みましょう。
 - ・はっきりと ・ゆっくりと
 - ・正しく ・感じをこめながら
- 文をおぼえるくらい読みましょう。
- だれかに聞いてもらいましょう。（音読カードにサインをもらいましょう。）
- 音読カードに反省を記入しましょう。

◆ 漢字をしっかりと覚えよう！

漢字

- （ふり仮名・送り仮名→テスト→
答え合わせ→間違いなおし）
- ① 漢字スキルや漢字音読プリント等をよく見て、ふり仮名と送り仮名を書く。
 - ② 何も見ずに、テストをするつもりで書く。
 - ③ 漢字スキルをよく見て○つけをする。
 - ④ 間違えた漢字は、もう一度練習し、次のページにふり仮名と送り仮名を書いておく。
- ☆ ていねいに、正しく、きれいに

◆ 宅習に取り組もう！

宅習

- 〈例〉「計算練習」
教科書や計算スキルの問題をノートに書いて、時間を図って取り組もう。
「社会や理科の復習」
その日に学習したことを中心に、復習をしましょう。
- ☆ 学習したことをしっかりと覚えよう！

◆ 日記を書きましょう！

日記

- 曜日ごとの題材例
月（読書感想文） 火（説明文）
水（詩・俳句） 木（物語日記）
金・土・日（今週心に残ったこと）
- 次のことを意識して書こう。
 - ・習った漢字 ・ていねいな文字
 - ・表現の工夫 ・事実と意見の区別

◆ プリントに取り組もう！

プリント

- 分からないことがあったら…
 - ・学校で学習したことをよく思い出す。
 - ・教科書を見ながら考える。
 - ・それでも解決できないときは、家の人、先生、友だちにたずねるようにする。

◆ 進んで読書をしよう！

読書

- 最後に１０分間、読書タイムをつくって本を読もう。
- いろいろなジャンルの本を進んで読もう。
- 高学年の「読んでおきたい本３５冊」も、計画的に読みましょう。

【家庭学習が終わったら】

- 学習した内容や時間を確かめてから、家の人や学園の先生にサインをもらいましょう。
- 筆箱の中をチェック。鉛筆は必ずとがしておきましょう。
- 明日の時間割を確かめ、学習や生活の道具を絶対に忘れないようにする。
（教科書、ノート、宅習ノート、筆箱、体育服、提出物、ハンカチ、ちり紙、帽子、給食着など）